

2016年5月12日

2016年3月期 決算説明会資料



新田ゼラチン株式会社

1

目次

 **Nitta Gelatin Inc.**
New Vision, New Direction

1. 2016年3月期実績
2. 2017年3月期業績予想
3. 中期経営計画進捗状況
4. トピックス

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 2016年3月期実績

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

3

1 2016年3月期実績

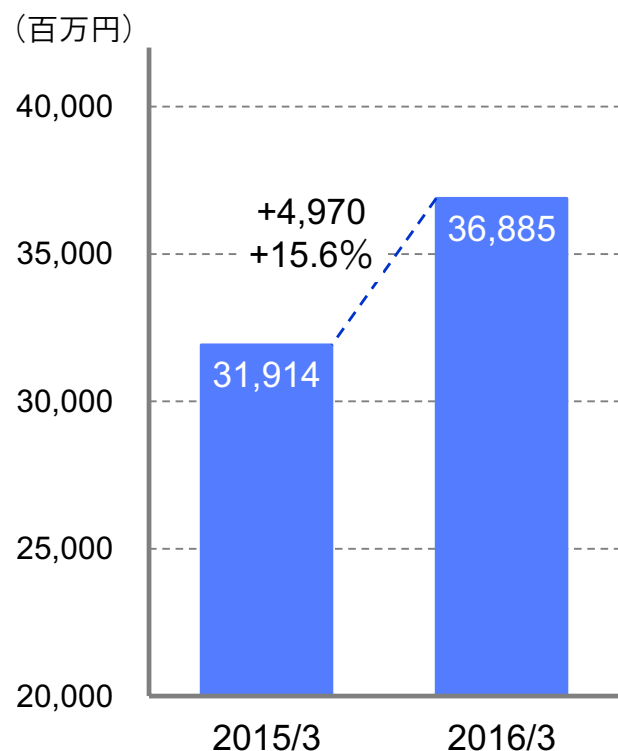
業績推移 ①: 売上高

売上高: 36,885百万円

前年比: +4,970百万円
+15.6%

予想比: Δ 1,214百万円
 Δ 3.2%

- 国内販売堅調
- インド3社の連結子会社化
- アジアでの需要増
- 北米向けカプセル用の需要回復途上



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

4

業績推移 ②: 営業利益

営業利益: 1,273百万円

前年比: +880百万円

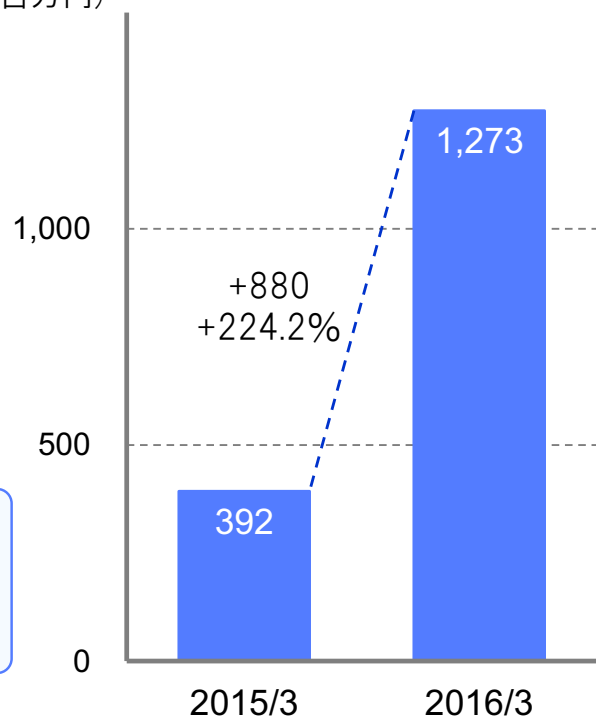
+224.2%

予想比: △126百万円

△9.1%

- 国内: ゼラチン、ペプチド堅調
- 原料価格安定
- ケーシング収益悪化

(百万円)



業績推移 ③: 経常利益

経常利益: 979百万円

前年比: +11百万円

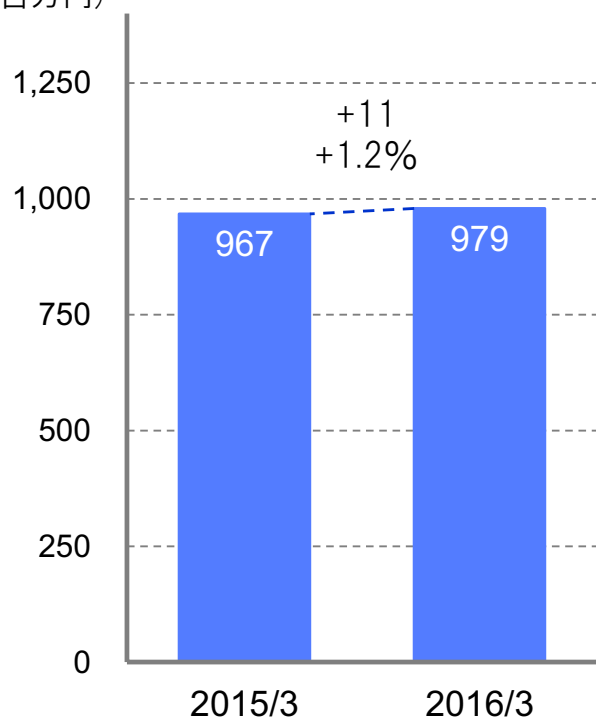
+1.2%

予想比: △120百万円

△10.9%

- 為替差損
- インド3社の連結子会社化による支払利息増加

(百万円)



特別損益について

インド3社の連結子会社化

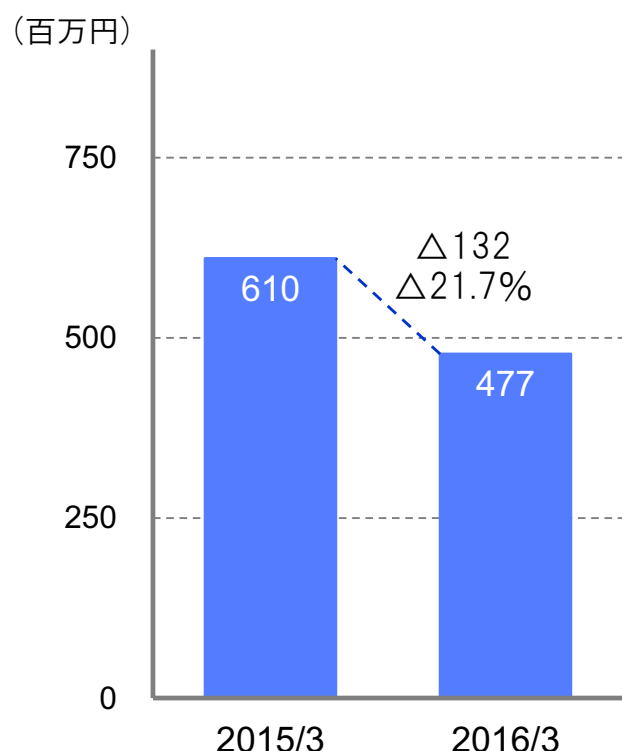
特別利益(負ののれん)	502百万円
特別損失(段階取得に係わる差損)	620百万円

中国の連結子会社を持分法適用会社へ異動

特別利益(持分変動益)	157百万円
-------------	--------

業績推移 ④: 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する 当期純利益:	477百万円
前年比:	△132百万円 △21.7%
予想比:	△22百万円 △4.5%



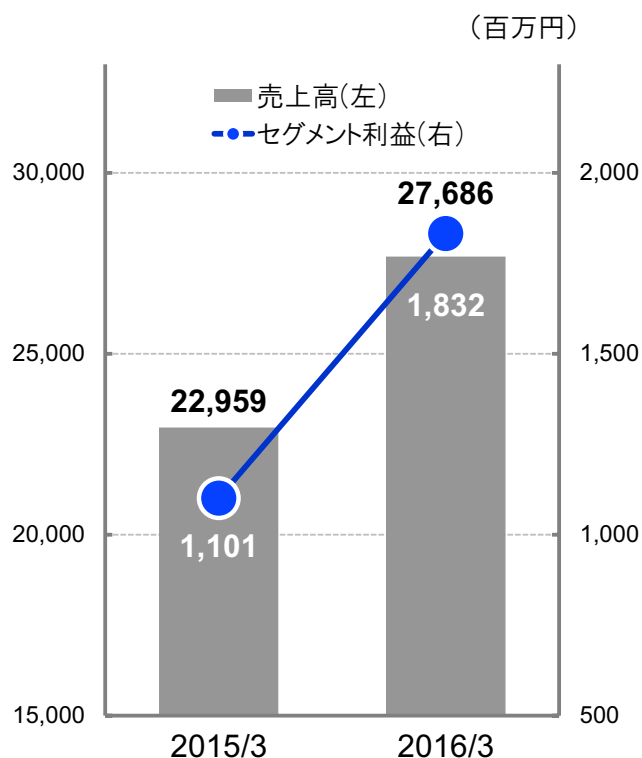
コラーゲン素材事業

売上高: 27,686百万円

前年比: +4,726百万円
+20.6%

セグメント利益: 1,832百万円

前年比: +730百万円
+66.3%



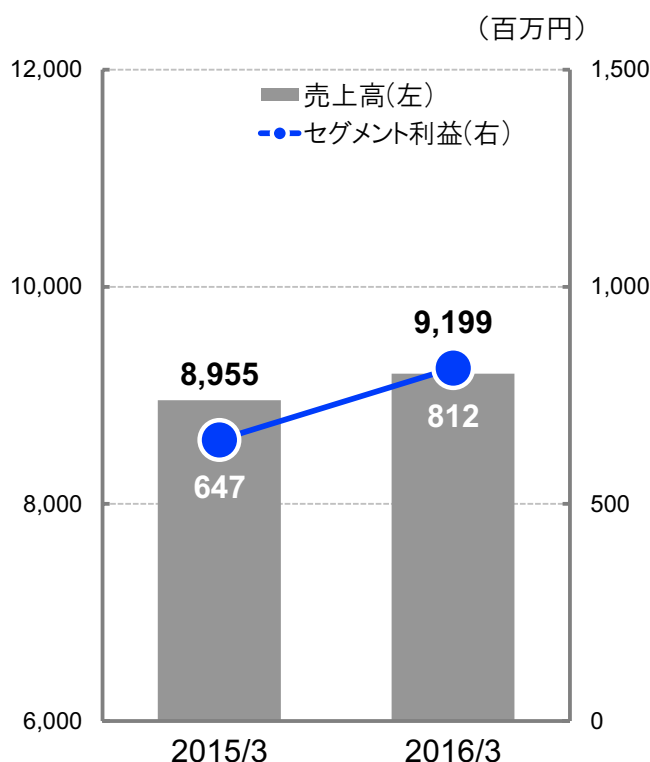
フォーミュラソリューション事業

売上高: 9,199百万円

前年比: +243百万円
+2.7%

セグメント利益: 812百万円

前年比: +165百万円
+25.5%



貸借対照表 (B/S)

- インド3社の連結子会社化により、資産、負債、純資産が増加

(百万円)	2015/3	2016/3	増減
流動資産	18,038	19,657	+1,618
現金・預金	2,622	2,688	+65
受取手形・売掛金	6,726	7,375	+648
たな卸資産	8,221	8,967	+745
その他流動資産	467	627	+159
固定資産	15,893	17,940	+2,046
有形固定資産	10,848	13,724	+2,875
無形固定資産	69	357	+287
投資等	4,974	3,858	△1,116
資産合計	33,932	37,597	+3,665

(百万円)	2015/3	2016/3	増減
流動負債	10,274	11,076	+801
支払手形・買掛金	3,768	4,252	+484
短期借入金・社債等	3,832	4,402	+569
その他流動負債	2,673	2,421	△252
固定負債	8,283	9,644	+1,360
長期借入金等	4,867	5,380	+512
退職給付に係る負債等	2,700	2,938	+238
その他固定負債	715	1,325	+609
負債合計	18,558	20,720	+2,162
株主資本	15,423	15,680	+257
その他包括利益累計額合計	△152	△707	△555
非支配株主持分	102	1,904	+1,801
純資産合計	15,373	16,876	+1,503
負債純資産合計	33,932	37,597	+3,665

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

11

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

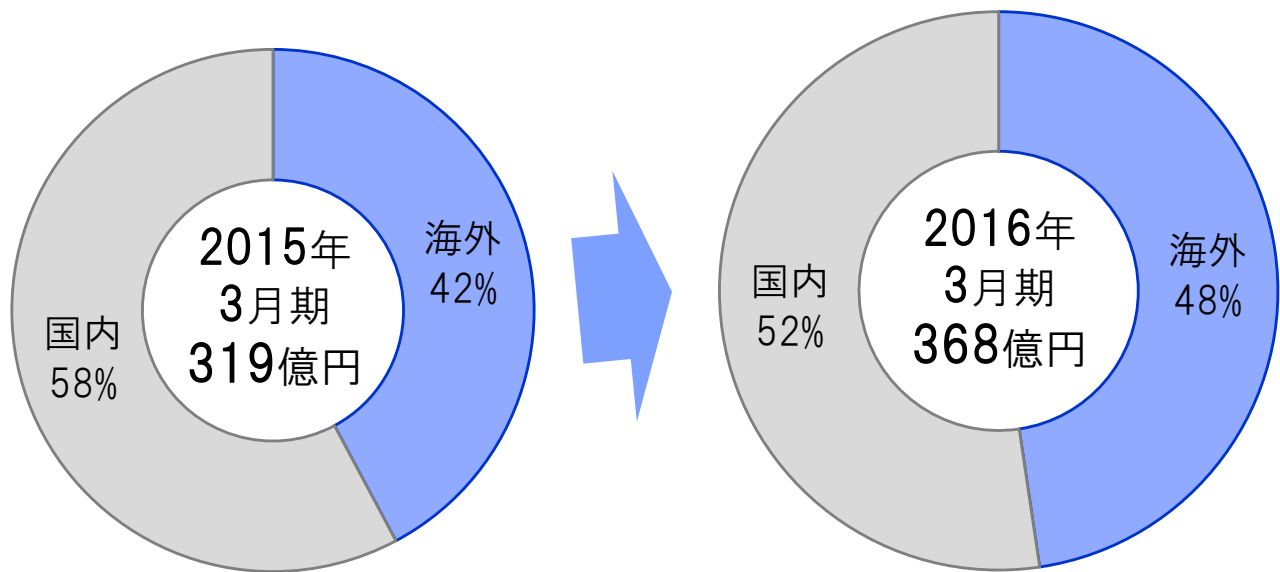
- 営業CF：税前利益、減価償却費、仕入債務の増加
- 投資CF：設備投資による支出
- 財務CF：返済による支出

(百万円)	2015/3	2016/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,074	2,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,505	△1,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	544	△473
現金及び現金同等品の増加額	196	△51
現金及び現金同等品の期末残高	2,602	2,536

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

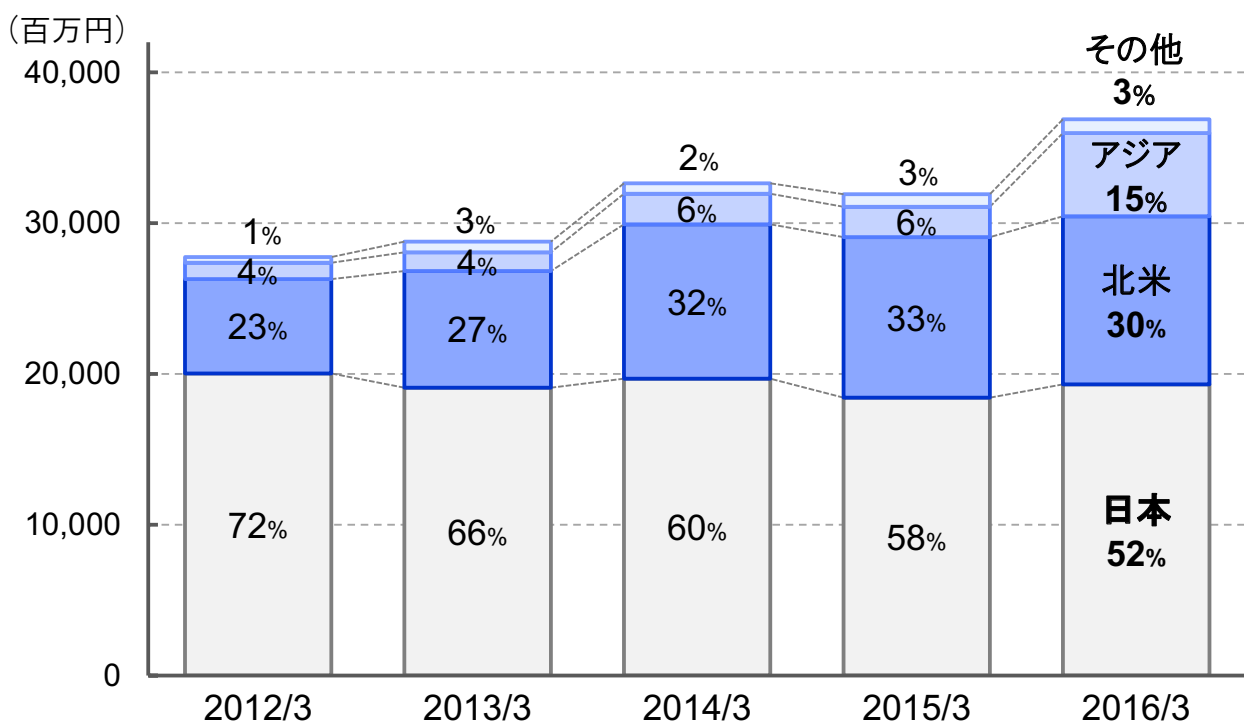
12

国内外売上比率



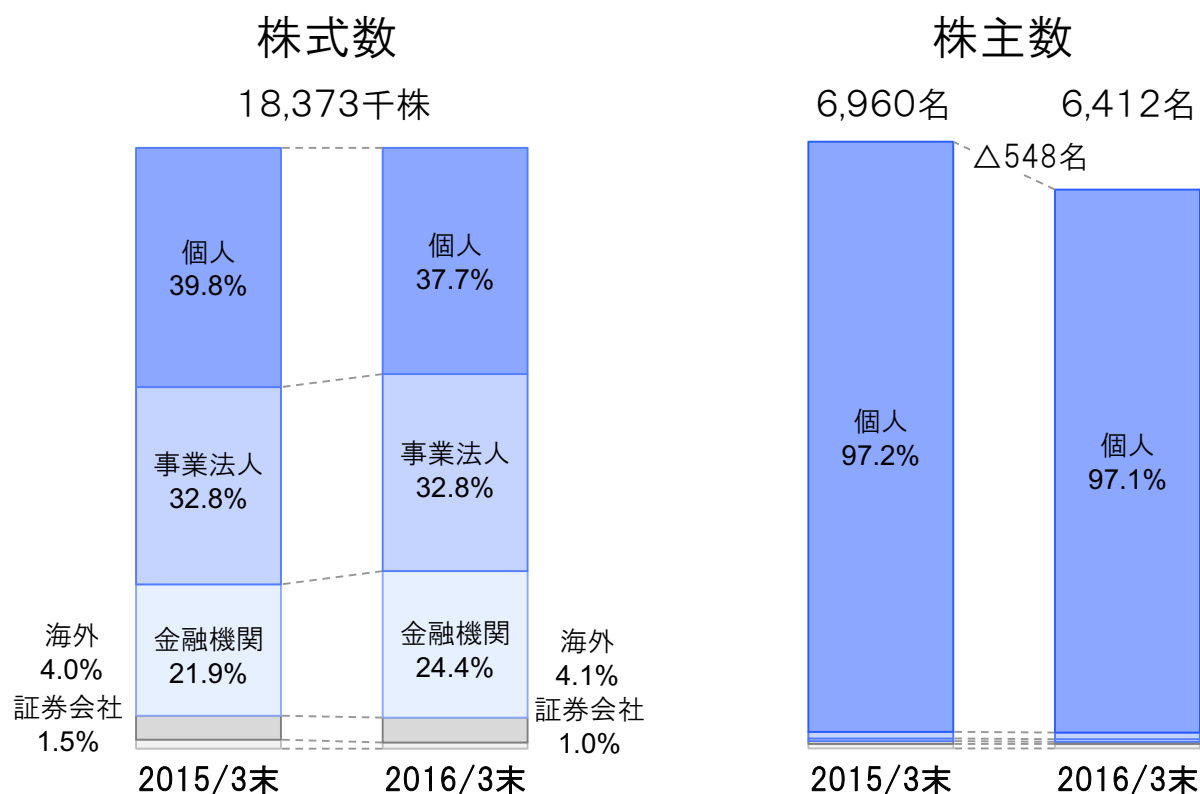
2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

地域別売上推移



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

株式分布変化



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

15

株主還元

< 予定配当金 >

2016年3月期： 期末配当 6円

2017年3月期： 12円(中間普通配6円+期末普通配6円)

< 株主優待制度 >

今後も継続予定

実施内容

- 100株～500株未満：
1,000円相当の(自社商品用)お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の自社商品(健康食品等)

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

16

2. 2017年3月期業績予想

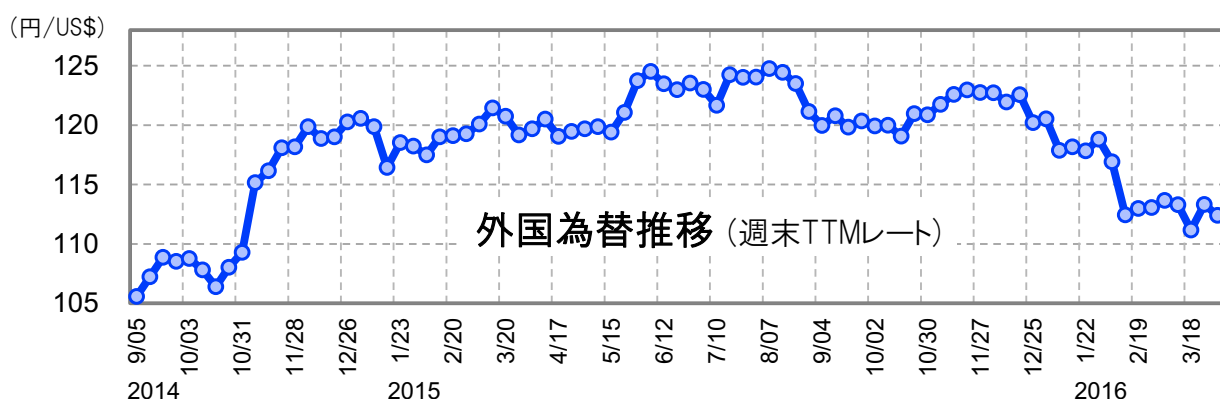
2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

17

2 2017年3月期業績予想

外部環境の認識

- 為替不安定
- 豚皮原料供給安定化
- 国内の食品需要は堅調
- インバウンド需要継続、機能性表示規制緩和
- アジア諸国のゼラチン、ケーシング、ペプチド、高機能樹脂の需要伸長
- 北米、欧州でのケーシング競争激化



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

18

2017年3月期予想

(百万円)		2016/3 (実績)	2017/3 (予想)	前期比
売上高		36,885	38,200	+3.6%
営業利益		1,273	1,500	+17.8%
	利益率	3.5%	3.9%	—
経常利益		979	1,400	+42.9%
	利益率	2.7%	3.7%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		477	800	+67.5%
	利益率	1.3%	2.1%	—

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

19

セグメント別売上予想

(百万円)	売上			セグメント利益		
	2016/3 (実績)	2017/3 (予想)	増減	2016/3 (実績)	2017/3 (予想)	増減
コラーゲン素材事業	27,686	27,900	+0.8%	1,832	2,100	+14.6%
フォーミュラソリューション事業	9,199	10,300	+12.0%	812	900	+10.7%
(消去又は全社)	—	—	—	△1,371	△1,500	—
合計	36,885	38,200	+3.6%	1,273	1,500	+17.8%

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

20

事業戦略

事業	戦略課題	今後の施策
ゼラチン	・収益性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進 ・国内・アジアでの牛骨ゼラチン拡販 ・製造コスト削減 ・生産性向上、安定操業
ペプチド	・Wellnexの トップブランド化	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能性ペプチドの開発 ・アジアでの新市場創出 ・北米・中国での販売拡大
ケーシング	・営業利益の回復	<ul style="list-style-type: none"> ・安定生産 ・生産効率アップ(コストダウン) ・新規顧客獲得
食品材料	・次期主力製品の研究・開発	
接着剤		

設備投資

(百万円)	2015/3 (実績)	2016/3 (実績)	2017/3 (計画)
設備投資額	2,449	1,548	2,670
減価償却費	1,115	1,562	1,600

2017/3 主要な設備投資の概要

- インド：品質向上、安定生産設備の導入
- 北米：ケーシングの生産性向上設備の導入
- 日本：ゼラチンの生産効率化設備の導入

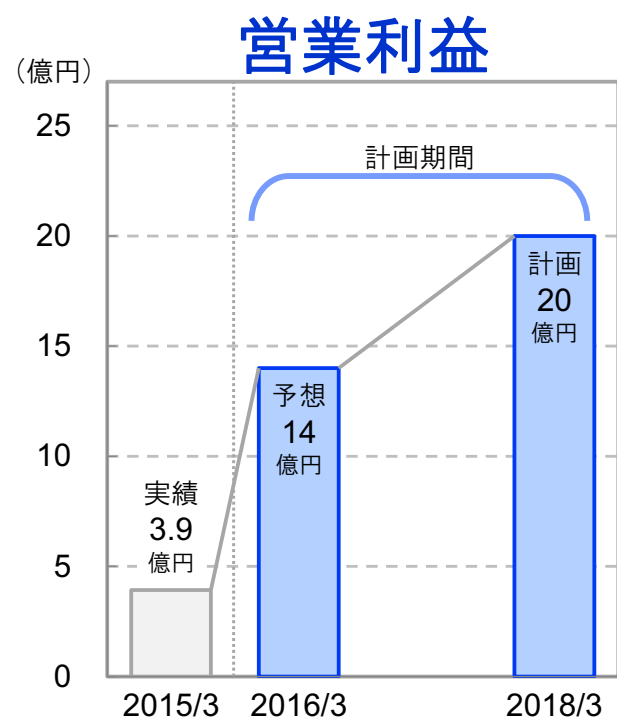
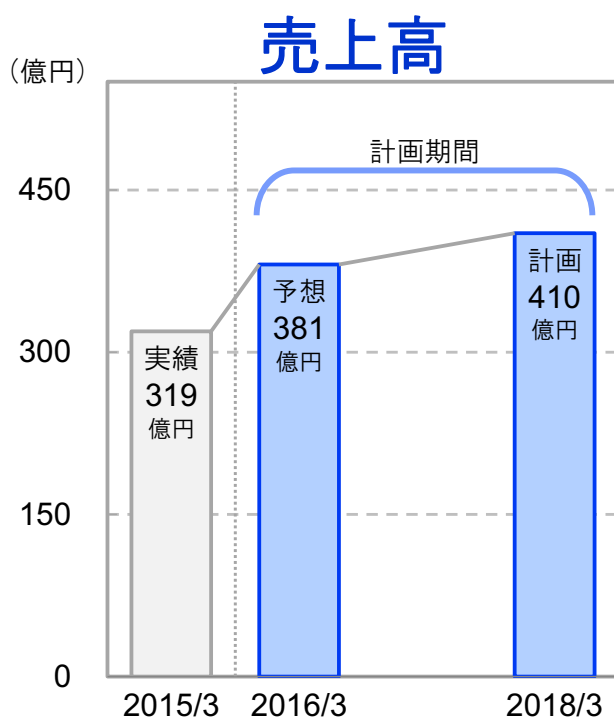
3. 中期経営計画進捗状況

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

23

3 中期経営計画進捗状況

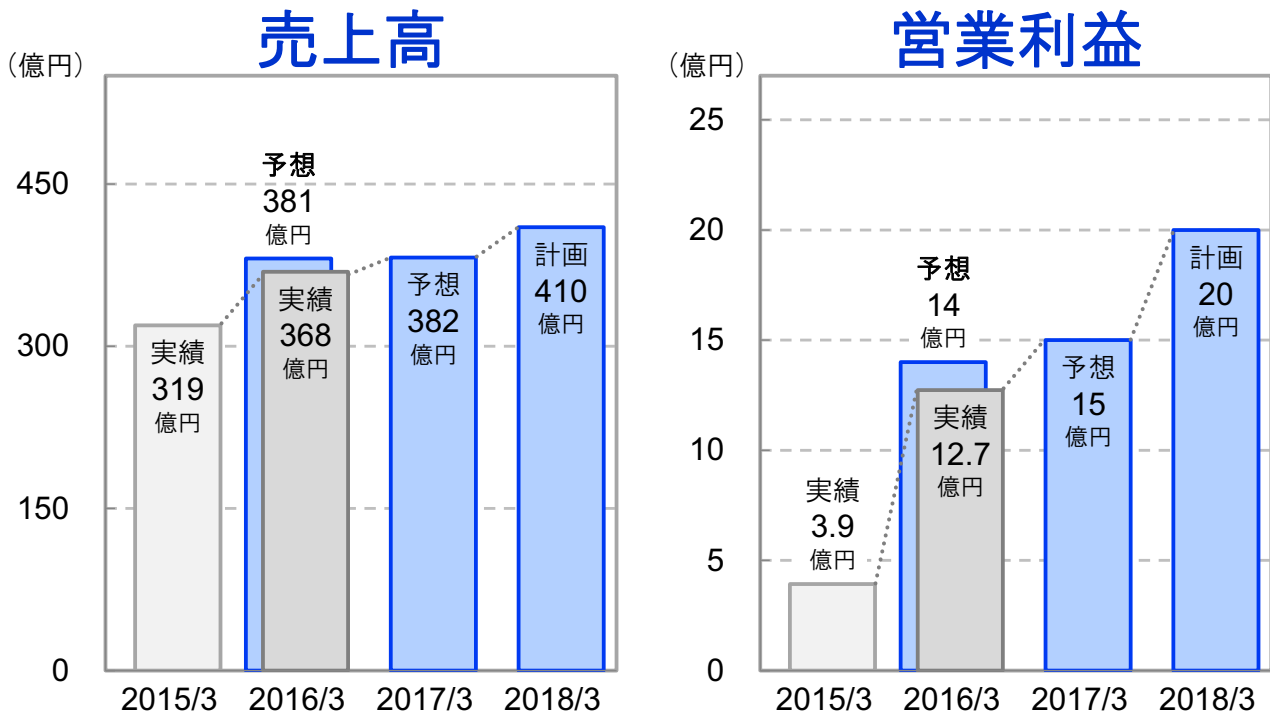
中期経営計画



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

24

中期経営計画



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

25

戦略課題実施状況

- ① 高付加価値商品の開発
 - 高機能性コラーゲンペプチドの開発
 - 再生医療用ゼラチン、コラーゲンの新用途開発
 - アクティブシニア層向け製品開発
 - 高機能樹脂の拡販
- ② 最適生産・最適販売
 - 国内・アジアでの牛骨ゼラチン拡販
 - 北米・中国でのコラーゲンペプチド拡販
- ③ グローバル経営基盤の強化
 - 国際部(新設)による、海外子会社の統括管理

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

26

4. トピックス

2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

27

4 トピックス

社名変更

アルマコーポレーション



新田ゼラチンフーズ株式会社

業務内容:ゼラチン、食品素材の販売

変更日:2016年4月1日

**「新興国における人事労務管理と現地経営」
に当社のインドでの経営事例が掲載**

著者: 古沢 昌之 編著
安室 憲一 編著
山口 隆英 編著

出版社: 白桃書房



2016年3月期 決算説明会資料 (2016.5.12)

28

第70回 日本栄養・食糧学会

2016年5月13日～15日(神戸)

コラーゲンペプチド機能研究会(関連学術集会)

10th World Biomaterials Congress 出展

2016年5月17日～21日、モントリオール(カナダ)

Food Ingredients Asia-China 出展

2016年6月21日～23日、上海(中国)

ライフサイエンスバイオマテリアル研究会開催

2016年9月30日(金) [ホテルグランビア京都]

先進医療分野の研究者による再生医療などの成果発表

コラーゲンペプチドシンポジウム開催

2016年10月4日 [東京]

最先端研究者によるコラーゲンペプチドの機能とメカニズムに関する成果発表



2014年10月29日開催の
コラーゲンペプチドシンポジウム

ご清聴ありがとうございました



新田ゼロチ株式会社